

### ■ 3-3 教育分野分類表

当協会のCPD記録の教育分野の分類は以下のとおりです。

教育分野及び内容			記号
A. 基礎共通分野	1 倫理	倫理規定、技術倫理、職業倫理、企業倫理など	A1
	2 一般科学	数学、物理、化学、生物学、統計学、数値解析など	A2
	3 環境	地球環境問題、生態学など	A3
	4 社会経済動向	国内外の社会動向、産業経済動向、労働市場動向、公共経済学など	A4
	5 法律・契約	関連法令・省令・条例、知的財産権法、契約制度、個人情報保護法、コンプライアンス（法令遵守）、ハラスメント規制法、担い手3法、働き方改革関連法など	A5
	6 教養	語学、土木史、技術史など	A6
	7 その他	上記以外で建設コンサルタントとして役に立つ基礎共通分野（社会資本整備論、ビジョン、役割、組織・人材育成など）	A7
B. 専門技術分野	1 河川・水工分野（河川、砂防及び海岸・海洋、港湾、電力土木）		B1
	2 交通分野（道路、鉄道、トンネル、空港）		B2
	3 都市計画分野（都市計画、地方計画、造園）		B3
	4 上下水道分野（上水道、工業用水道、下水道）		B4
	5 農業森林水産分野（農業土木、森林土木、水産土木）		B5
	6 電気・電子分野		B6
	7 土質、基礎、地質、岩盤分野		B7
	8 構造物設計分野（鋼構造、コンクリート、開削トンネル、仮設構造物など）		B8
	9 施工計画分野（施工計画、施工設備、積算、機械、情報化施工、施工技術、建設生産システム）		B9
	10 建設環境分野（景観・デザイン、環境アセスメント、環境調査、廃棄物）		B10
	11 建設情報分野（建設情報通信システム開発）		B11
	12 その他（測量・リモートセンシング、非破壊検査技術、社内研修・自己学習における複数分野）		B12
C. 周辺技術分野	情報技術（ICT、IoT/AI、コンピュータープログラミングなど）、プレゼンテーション・コミュニケーション技術、ドローン（空撮技術）、i-Construction、BIM/CIM、CAD など		C
D. マネジメント関連分野	コンストラクションマネジメント(CM)、プロジェクトマネジメント(PM)、PPP/PFI 事業、品質管理、工程管理、コスト管理、労務管理、セキュリティ管理、安全管理、ワークライフバランス、VE、ストックマネジメント、リスクマネジメント、アセットマネジメント、公共マネジメント、合意形成、ロボティックプロセスオートメーション(RPA) など		D

※ 表中の記号欄は「CPD 記録登録」に入力する際に使用

※ 「B.専門技術分野」及び「D.マネジメント関連分野」の技術には、防災・災害、耐震、検査・診断技術、維持・補修・保全技術等の教育分野も含まれる。